

令和3年度

第29回山形県民スポーツフェスティバルにおける

新型コロナウイルス感染症拡大防止に関する

ガイドライン

山形県民スポーツフェスティバル

確定版

競技団体が実施すること

1 大会前の感染者発生の場合

大会前に大会参加者に陽性者が確認された場合には、保健所や医療機関の指示に従うとともに県事務局に報告する。

2 大会後の感染者発生の場合

大会役員及び参加者が大会終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した報告を受けた場合、保健所や医療機関の指示に従うとともに県事務局に報告する。

3 感染防止責任者の配置について

会場における感染防止責任者を配置し、定期的に巡回し、大会参加者の感染防止対策を徹底させる。また、以下の業務を行うこと。

- (1) 大会参加者への指導
- (2) 定期的な消毒
- (3) 会場の換気

4 ガイドラインの内容の周知と当日用チェックリスト（様式1～4）の配布について

大会参加者へガイドラインの内容を伝え、当日用チェックリスト（様式1～4）の配布する。（山形県広域スポーツセンターのサイトからもダウンロード可）

URL：<https://www.spo-net-yamagata.com/suporec/index.html>



5 感染症対策の確認について

「主催者用チェックリスト」を使用して、感染症対策を確認し、不備がある場合は、対応する。

6 当日の受付について

競技団体は、大会当日の受付時に大会参加者が密になることへの防止や、安全に大会を開催・実施するために、以下に配慮する。

- (1) 手指消毒剤を設置すること。
- (2) 貼紙などにより注意を促すこと。
例「発熱や軽度であっても咳・咽頭痛などの症状がある人は入場できません」
- (3) 人と人が対面する場所は、アクリル板や透明ビニールカーテンを準備し、対応する。（経費的に可能な場合）
- (4) 周囲の人となるべく距離 {できるだけ2mを目安に（最低1m）} を開ける。可能であれば、目安となるラインを引いたり、テープを貼ったりする。

7 受付時の体調の確認について

- (1) 大会当日の体温

会場に入る直前に大会役員及び大会参加者の検温を行う。

※個人競技の場合は、大会役員が検温を行う。

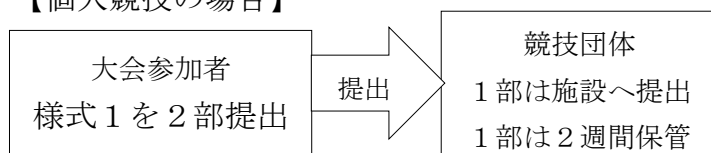
※団体競技の場合は、監督が検温を行う。

発熱者（37℃以上を目安）がないこと、かつ体調不良者がいないことを確認する。

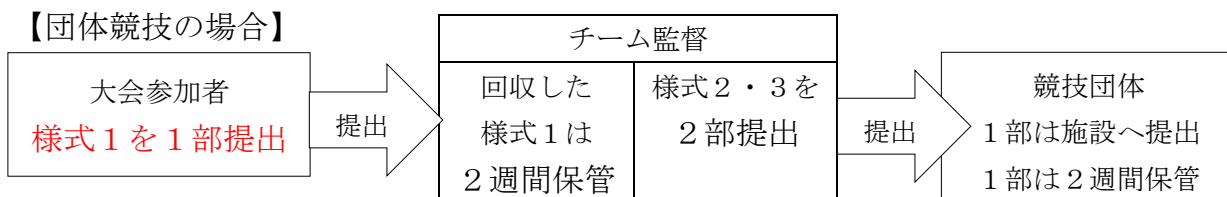
(2) チェックリストを2部（施設用と競技団体用）回収する。

(大会前2週間における以下の事項の有無)

【個人競技の場合】



【団体競技の場合】



=受付担当が留意すること=

※団体競技の監督に、回収した様式1を大会後2週間保管するように伝える。

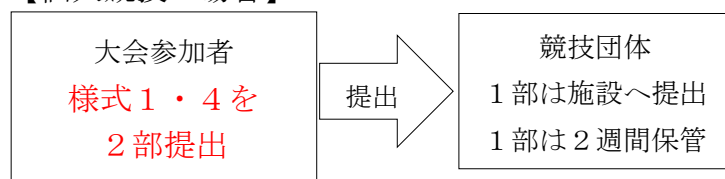
※団体競技の監督には、必要に応じて、回収した様式1の提出も求める。

※県体育館を使用する団体は、県体育館指定の様式を回収する。

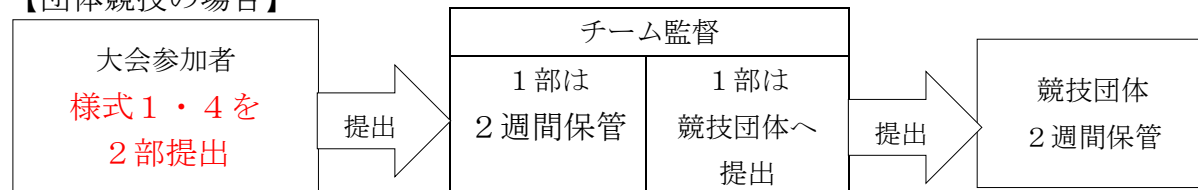
※万が一忘れてきた人に対応するために、各様式の予備を用意しておく。

【大会2週間前に緊急事態宣言もしくはまん延防止重点措置が出ている地域、及び直近一週間の感染者数が10万人当たり15人以上の都道府県への出張・通勤・通学がある場合】

【個人競技の場合】



【団体競技の場合】



8 開閉会式について

開閉会式は行わない。

9 観客について

観客は入れない。

10 大会会場の換気について（大会を屋内で実施する場合）

原則、常時開放とする。

※常時開放できない競技は、30分に1回は窓を開け外気を取り入れる等の換気を行う。

11 使用マスクについて

(1) 大会参加者が不織布マスクを準備しているか確認する。

(2) 持っていない参加者のために、不織布マスクを準備する。

(3) 参加受付、着替え等の競技を行っていない間、特に会話する時には、マスクを着用するよう指導する。

(4) マスクを着用して競技を行った場合、十分な呼吸ができず人体に影響を及ぼす可能性があること、熱中症のリスクがあることに留意し、適宜周知する。

13 更衣室・休憩・待機スペースでの留意事項

(1) 更衣室と休憩・待機スペースは分けて設置する。

(感染リスクが比較的高いと考えられるため)

設置の際の配慮事項

・広さにはゆとりを持たせ、他の参加者と密になることを避ける。

・一度に入室する大会参加者の数を制限する。

・ドアノブ、ロッカーの取手、テーブル、いす等については、可能限り定期的に消毒する。

・換気扇を常に回す、換気用の小窓を開ける等、換気に配慮する。

14 洗面所（トイレ）の管理における留意事項

(感染リスクが比較的高いと考えられるため)

(1) トイレ内のドアノブ、レバー等については、可能限り定期的に消毒する。

(2) トイレのふたを閉めて汚物を流すように表示する。

(3) 「手洗いは30秒以上」等の掲示をする。

(4) 大会参加者にはマイタオルを持参させ、共有しない。

(5) 手洗い場には石鹼（ポンプ型が望ましい）を用意する。

新型コロナウイルス感染症感染防止対策業務について

《主な業務》

大会当日まで

- 大会役員及び参加者に対してのガイドラインの内容の周知徹底と大会当日用のチェックリストの配布
- 「主催者用チェックリスト」を使用して、感染対策を確認し、不備がある場合は対応する。

大会当日

- 競技団体は、大会役員の「大会当日用のチェックリスト（様式1）」を回収し、大会役員の健康状態を把握する。

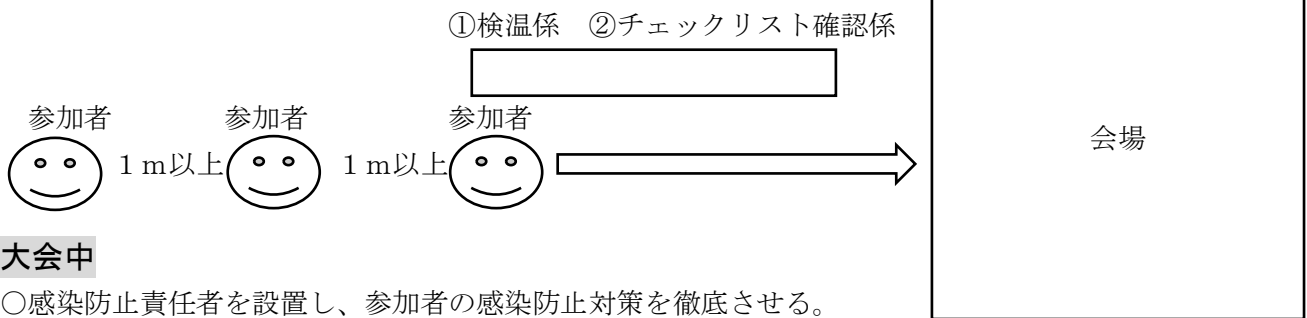
受付時

- 検温計、手指消毒剤を準備する。
- 参加者の「大会当日用のチェックリスト」を回収（2部：施設用と事務局用）し、健康状態を確認する。

個人種目の場合は、様式1
団体種目の場合は、様式2と様式3
※県体育館を使用する団体は県体育館指定の様式
※大会当日2週間前に仕事・通勤・通学で緊急事態宣言もしくはまん延防止措置が出ている都道府県へ行き来した場合は、様式4の提出を求める。

- 会場に入る前の検温を行う。
- 不織布マスクを着用しているか確認する。不織布マスクでない場合、不織布マスクを渡す。
- 周囲の人と1m以上開ける。
- 受付は最低2名とする。（参加者が多い場合は、2人1チームとして数チーム作る）

検温係1名 チェックリスト確認係1名



大会中

- 感染防止責任者を設置し、参加者の感染防止対策を徹底させる。
- 定期的に消毒を行う。
更衣室・休憩・待機スペースのドアノブ、ロッカーの取手、テーブル、イス等
トイレのドアノブ、レバー等
- 常時、窓等を開放する。
常時開放ができない場合は、30分に1回は窓を開け、換気を行う。（屋内で実施する場合）

非接触型検温計の有無

- 上山体育文化センター・中山町立体育館・寒河江市民体育館・三川町アレスなの花白鷹パークゴルフ場・ヤマコーボウル
- X県体育館・県総合運動公園・南陽市向山公園・ヒルズサンピア山形体育館

大会参加者が実施すること

1 大会前の感染した場合

【個人競技の場合】

大会前に感染した場合、保健所や医療機関の指示に従うとともに競技団体事務局に報告する。

【団体競技の場合】

大会前に参加者が感染した場合、チーム責任者は保健所や医療機関の指示に従うとともに競技団体事務局に報告する。

2 大会後に感染した場合

【個人競技の場合】

大会終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合、保健所や医療機関の指示に従うとともに競技団体事務局に報告する。

【団体競技の場合】

大会終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合、チーム責任者に連絡し、チーム責任者は競技団体事務局に対して速やかに報告する。

3 受付時の体調の確認について

(1) 大会当日の体温

【個人競技の場合】

会場に入る直前に大会役員から検温をしてもらう。

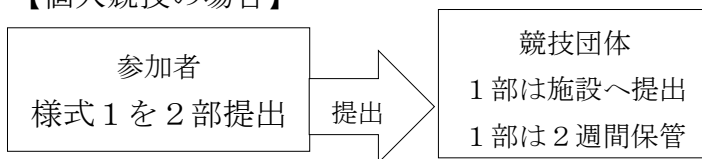
【団体競技の場合】

会場に入る直前にチーム責任者（監督）から検温をしてもらう。

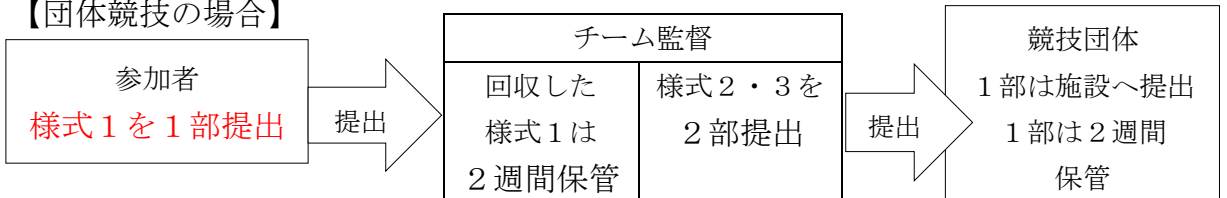
(2) 受付時にチェックリストを2部（施設用・事務局用）提出する。

（大会前2週間における以下の事項の有無）

【個人競技の場合】



【団体競技の場合】



＝チーム監督が留意すること＝

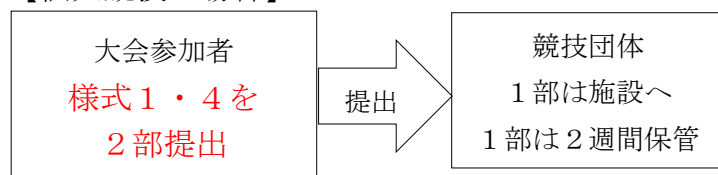
※監督が参加者のチェックリスト（様式1）を回収し、確認した上で様式2（チーム用）と参加者名簿（様式3）を提出する。

※回収した様式1は大会終了2週間保管する。

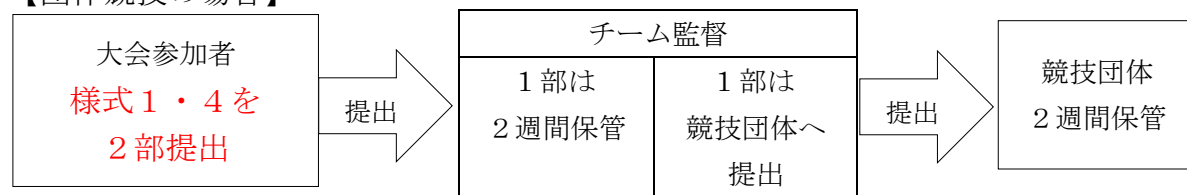
※県体育館を使用する団体は、県体育館指定の様式を使用する。

【大会2週間前に緊急事態宣言もしくはまん延防止重点措置が出ている地域、及び直近一週間の感染者数が10万人当たり15人以上の都道府県への出張・通勤・通学がある場合】

【個人競技の場合】



【団体競技の場合】



(3) 大会2週間前からの体調管理

※大会2週間前からは、個人・団体競技に関わらず、毎日、検温を行い、体調をチェックすること。

チェック項目は、「当日用チェックリスト」を参照する。

※大会2週間前に37℃以上の発熱があった場合は、医療機関を受診し、診断を受け、大会参加の許可が出た場合のみ、大会への参加を可能とする。

※新型コロナウイルス感染症対策ガイドライン・当日用チェックリストは「山形県広域スポーツセンター」のサイトからもダウンロードできます。

URL：<https://www.spo-net-yamagata.com/suporec/index.html>



4 大会参加者が守るべきことについて

(1) マスク着用について

不織布マスクを準備し、常にマスクを着用する。

参加受付、着替え等の競技を行っていない間、特に会話する時には、マスクを着用する。

競技中はマスクを外してもよいが、マスクを着用して競技を行った場合、十分な呼吸ができず人体に影響を及ぼす可能性があること、熱中症のリスクがあることに留意する。

(2) 大会前後のミーティング等について

三つの密を避ける。

会話時にマスクを着用する。

(3) 飲食等について

- ・飲食物を手にする前に、手洗い、手指消毒等をする。
- ・同じ方向を向き、車座になったりせず、会話はしない。
- ・飲料については、ペットボトル・ビン・缶や使い捨て紙コップを使用し、共有しない。

(4) ゴミの管理について

ゴミは持ち帰る。

(5) 競技について

- ・競技をしていない間には、周囲の人となるべく距離 {できるだけ2 mを目安に(最低1 m)} を開ける。
- ・競技中に唾や痰を吐かない。
- ・タオルを共有しない。
- ・飲食については、指定の場所以外では行わず、周囲の人となるべく距離をとって対面を避け、会話はしない。
- ・飲みきれなかった飲料等を指定場所以外に捨てない。